

# 県議会やまがた

2月定例会号

第41号 / 令和5年(2023年)5月発行(年4回発行)



[2月定例会] 着物姿で本県の伝統産業をPR

2月定例会が、2月20日から3月16日までの25日間の会期で開催されました。本会議で自由民主党及び県政クラブによる代表質問と、6名の議員による一般質問が行われました。さらに、予算特別委員会での8名の委員による質疑や各常任委員会での審査を経た上で、令和5年度一般会計当初予算など、知事提出の64議案を可決・同意しました。請願は1件上程され、不採択となりました。意見書は5件発議し、全て原案どおり可決、関係する府省などに提出しました。また、除排雪に携わる方々に感謝する決議を可決しました。主な質疑内容は、次ページ以降のとおりです。(※各議員の所属会派名は2月定例会時のものです。)

## 2月定例会の概要

「県議会やまがた」第41号は、2月定例会の内容を中心にお伝えします。

- ◆ ◆ ◆ 目次 ◆ ◆ ◆
- 1ページ
- 2月定例会の概要
- 新議員の紹介
- 2ページ
- 2月定例会の代表質問
- 2月定例会の一般質問
- 2月定例会中の県議会ギヤラリー
- 3ページ
- 2月定例会の一般質問
- 予算特別委員会の質疑
- 4ページ
- 予算特別委員会の質疑
- 可決した意見書・決議
- 知事への政策提言

## 新議員の紹介

選挙区ごと議席番号順  
※氏名 ※所属会派 ※当選回数

- 任期は令和5年4月30日から4年間です。
- 5月臨時会の開会日に、議長および副議長の選挙が行われ、第35代議長に森田廣議員(酒田市・飽海郡選挙区)が、また、第68代副議長に小松伸也議員(最上郡選挙区)が選出されました。所属委員会などの詳細は、臨時会の内容と併せて次号で紹介します。

選挙区	定数	新議員	所属会派	当選回数
酒田市・飽海郡	5	江口 暢子, 阿部ひとみ, 石黒 覚, 梶原 宗明, 森田 廣	県政クラブ, 自由民主党	1回, 2回, 4回, 2回, 7回
最上郡	2	小松 伸也, 伊藤 重成	自由民主党	4回, 7回
新庄市	2	石川 正志, 佐藤 文一	県政クラブ, 自由民主党	1回, 1回
鶴岡市	5	石塚 慶, 関 徹, 今野美奈子, 佐藤 正胤, 高橋 淳	自由民主党, 日本共産党山形県議団, 県政クラブ	1回, 3回, 2回, 1回, 2回
東田川郡	1	田澤 伸一	自由民主党	7回
尾花沢市・北村山郡	1	加賀 正和	自由民主党	5回
村山市	1	能登 淳一	自由民主党	2回
東根市	2	齋藤俊一郎, 高橋 弓嗣	県政クラブ, 自由民主党	1回, 1回
寒河江市・西村山郡	3	橋本 彩子, 阿部 恭平, 榎津 博士	県政クラブ, 自由民主党	1回, 1回, 5回
長井市・西置賜郡	2	青木 彰榮, 五十嵐智洋	県政クラブ, 自由民主党	3回, 2回
東置賜郡	2	相田日出夫, 船山 現人	自由民主党	1回, 7回
米沢市	3	相田 光照, 波間佳寿美, 木村 忠三	自由民主党, 県政クラブ	2回, 3回, 6回
南陽市	1	柴田 正人	自由民主党	3回
東村山郡	1	鈴木 学	自由民主党	1回
上山市	1	遠藤 寛明	自由民主党	2回
天童市	2	矢吹 栄修, 森谷仙一郎	自由民主党	4回, 5回
山形市	9	石川 渉, 松井 愛, 伊藤 香織, 梅津 庸成, 遠藤 和典, 菊池 文昭, 吉村 和武, 高橋 啓介, 奥山 誠治	日本共産党山形県議団, 県政クラブ, 自由民主党, 公明党	1回, 1回, 1回, 2回, 2回, 4回, 5回, 5回, 5回



代表質問から



自由民主党 島津 良平 議員 (東置賜郡選挙区)

水素エネルギーの活用

問 カーボンニュートラル社会の実現に向け、水素の活用はどう取り組むのか。

答 水素エネルギーについて県民や県内企業の理解の促進を図り、利活用に向けた機運を醸成していく必要がある。令和5年度に見直す予定の「後期エネルギー政策推進プログラム」では、水素の位置づけについて議論し、併せてプロジェクトチームを立ち上げ水素の製造・貯蔵・利活用などに関する検討を進め、戦略を策定していく。さらに、勉強会の開催や水素ステーションの整備に係る支援制度の創設、関連産業への参入支援など総合的な取組みを進める。

県内中小ものづくり企業の企業力向上への支援

問 企業の強みを生かし、取引機会を得られるように、生産体制や技術力を強化する必要があると考えるがどうか。

答 県では、産学官の関係機関が持つ多様な機能を総動員し、各企業が持つ技術力のさらなる磨き上げや新分野への進出、新製品の開発などを支援している。こうした中で、技術開発により受注生産型から開発主導型に転換し自動車から宇宙産業まで幅広い分野

で実績を上げる事例も出ていく。引き続き、本県のものでづくり産業全体が持続的に発展できるように取り組んでいく。

山形県道路中期計画の進め方

問 山形県道路中期計画2028の現在の進捗状況と今後の取組みはどうか。

答 本計画は令和元年度から概ね10年間の道路行政の方針を示している。計画策定当初と比較すると、縦軸となる高速道路の供用率が76%から84%に進捗している一方、横軸となる地域高規格道路の供用率は29%から変わっていない。横軸道路は災害時の支援助物資輸送路として機能するなど重要性が高まっているが、脆弱な区間の機能強化が課題となっており、整備促進について政府などへ要望しながら引き続き道路ネットワークの強化に取り組んでいく。



県政クラブ 青木 彰 議員 (長井市・西置賜郡選挙区)

母なる川「最上川」の水質改善及び環境保全

問 最上川の水質の現状をどう認識し、環境保全に向けてどう取り組んでいくのか。

答 生活排水対策として合併処理浄化槽の整備促進や工場排水の改善指導などにより最上川の概ね全ての流域で環境基準を達成し、アユなどが生息できる水質を保持している。また、環境保全に向けて、ゴミ拾い活動に競技の要素を取り入れたスポGOMI大会

の開催、県民が参加して毎年実施する除草や清掃、ボランティアによる河川愛護活動への支援などに取り組んでいる。加えて環境教育拠点機能の充実や情報発信の強化を図り、良好な環境の維持に努めていく。

令和4年8月の大雨を踏まえ今後の治水対策

問 被災施設の復旧状況と今後の災害防止に向けた取組みはどうか。

答 県では「最上川上流(置賜地域)緊急治水対策プロジェクト」を策定し、令和7年度の完了を目標に対策を集中的に進めていく。多くの被害が発生した最上川支川の河道掘削や護岸などの復旧に順次着手しているほか、今後、政府の社会資本整備重点計画を踏まえ、住民の避難行動支援を推進していく。国土交通省などと連携し、災害に強い河川整備などのハード対策と、県民への的確な情報提供などのソフト対策が一体となった治水対策に取り組んでいく。

インターチェンジ(IC)に30分でアクセスできる居住人口割合の拡大

問 高速道路などに容易にアクセスできる居住人口割合の拡大に、どう取り組むのか。

答 ICに30分でアクセスできる人口の割合は現在の道路中期計画期間中(2028年度まで)に97%への引上げを目指しているが、最上地域と置賜地域の一部はカバーされない見込みである。最上地域は石巻新庄道路の整備が、置賜地域は新潟山形南部連絡道路の整備がそれぞれ課題であり、事業促進や未事業化区間の早期着手を政府などに働き

一般質問から



自由民主党 相田 光昭 議員 (米沢市選挙区)

4期目の知事の退職手当

問 4期目の知事の退職手当の取扱いはどうか。

答 退職手当については、その時々において総合的に判断してきた。ポストコロナへの転換期を迎える中、不安定な国際情勢や物価高騰など社会経済環境の大きな変化に加え、人口減少の加速や多発する自然災害など課題が山積している状況にあり、現時点でまだ考えが及んでいない。まずは直面する課題に迅速に対応しながら、県民の幸せと県政の発展のためにまい進していく。

山形新幹線米沢トンネル(仮称)整備に向けた具体的な取組み

問 JR東日本との覚書などを踏まえ、トンネルの早期整備に向けてどう取り組むのか。

答 鉄道沿線の活性化に向けた取組みを進め受益効果を高めていく。また、JR東日本との共同調査を令和6年度にかけて実施するとともに、事業スキームの協議を重ね、政府の財政支援を受けられるよう様々な機会を捉えて要望活動を継続していく。

引き続きオール山形で一体となって早期実現に取り組んでいく。



県政クラブ 高橋 淳 議員 (鶴岡市選挙区)

園芸産地の維持発展に向けた支援

問 園芸農家の経営継続に向け、ハウスの長寿命化対策や後継者の確保が必要と考えるがどうか。

答 ハウスの長寿命化や後継者確保は重要な課題である。ハウスの長寿命化については、野菜花き用ハウスの再整備など県独自に支援してきたが、全国的な課題であるため、営農継続に向けた園芸用施設の再整備・改修への支援策の創設を政府に提案していく。後継者の確保についても令和5年度予算に経営継承を後押しする新規事業を計上しており、しっかりと取り組んでいく。道路をきれいに保つ防草機能の考え方

問 県管理道路における除草や防草にどう取り組んでいるのか。

答 県では、道路の維持管理の一環として定期的に除草している。また、防護柵などがある路肩の必要箇所に防草シートを設置したり、歩道と車道の境界部の縁石部分に防草効果のあるコンクリートブロック製品を試験的に導入したりするなど、道路の建設段階から防草対策を行うことにより、維持管理の効率化を図り、利用者の安全確保につなげている。

障がいのある方の工賃向上を推進するための取組み



自由民主党 柴田 正人 議員 (南陽市選挙区)

問 障がい者の工賃の現状はどうか。また、工賃向上に向け今後どう取り組むのか。

答 これまで県が進めてきた企業と就労継続支援B型事業所とのマッチングなどの受注拡大の取組みにより障がい者の工賃は向上しているが、依然として全国平均を下回っている。今後は、より工賃単価が高い業務の受注に向けた支援とともに、販促イベントの開催

地域ブランド魚「ニジサクラ」を活用した養殖業の振興と地域活性化

問 「ニジサクラ」を活用した養殖業の振興と地域活性化にどのように取り組むのか。

答 「ニジサクラ」については、上品な味と希少性を武器にブランド化を図っていく。ブランド化の推進にあたり生産者、飲食店、観光関係者、行政などの関係者からなる協議会を立ち上げ、生産・販売戦略などについて検討するとともに、メニュー開発やキャンペーン活動に一体となって取り組む、養殖業の振興と地域活性化につなげていく。

2月定例会中の県議会ギャラリー

- 県内の小中学生による「第38回山形県児童生徒版画作品展」の特選入賞作品10点を展示しました。
- 県内の高校生による「第70回建築設計デザインコンクール」の入賞作品および「第13回高校生の建築甲子園全国大会」の入賞作品をまとめたパネルの展示を行いました。



児童生徒版画作品展



高校建築設計デザインコンクール入賞作品などのパネル展示

とても素敵な作品ばかりでした。たくさんのご来場ありがとうございました。





自由民主党  
矢吹 栄修 議員  
(天童市選挙区)

### 鉄道の利便性向上

**問** 関係市町と連携し予算を投入して鉄道の利便性を向上させ、SDGsにかなう社会づくりを目指すべきと考えがどうか。

**答** 鉄道は地域住民の日常生活を支える公共交通機関であることに加え、環境負荷が低いという特性から、SDGsやカーボンニュートラルの観点からも重要な社会基盤である。令和5年度当初予算で、各地域における取組みに対する支援を計上しており、市町村などの連携を深めていく。

### メタバースやNFT技術の活用

**問** メタバースやNFT技術を活用した施策展開についてどのように考えているか。

**NFTとは**  
Non-Fungible Token (非代替性トークン)の略称。「偽造・改ざん不能のデジタルデータ」であり、ブロックチェーン上で、デジタルデータに唯一の性質を付与して真贋性を担保する機能や、取引履歴を追跡できる機能をもつもの。  
※[経済財政運営と改革の基本方針2022](令和4年6月7日閣議決定)の脚注より

**答** メタバースは黎明期であり仮想空間を提供するプラットフォームが乱立しているなどの課題がある。また、NFTについても民法上の所有権が認められていないなどの課題があるが、今後の技術革新や法整備が進むことで、本格

的な普及が進んでいくと考えられている。メタバースに関する取組み事例などの把握に努めながら、行政課題に応じた活用方法を研究し、具体的な活用に向けて検討する。



県政クラブ  
松田 敏男 議員  
(寒河江市・西村山郡選挙区)

### 脱炭素社会づくり条例の制定を契機とした「ゼロカーボンやまがた2050」の実現

**問** 「山形県脱炭素社会づくり条例」の目的と、「ゼロカーボンやまがた2050」の実現に向けた県の取組みはどうか。

**答** 本条例は、県・事業者・県民のそれぞれの果たすべき役割を示すとともに、脱炭素社会の実現を図り、県民の健康で文化的な生活の確保を図ることを目的としている。県民運動による機運醸成を図り、県民・事業者の役割について周知し、一人ひとりの行動変容を促すほか、ロードマップを議論し実効性のある施策を展開する。

### 西村山地域の医療提供体制

**問** 西村山地域の首長や有識者の意見を踏まえた今後の取組みはどうか。

**答** 人口減少と高齢化で医療ニーズが大きく変化する中、持続可能な医療提供体制の構築は喫緊の課題である。市町と県が協力・連携して医療機能の集約に取り組むことが必要不可欠であり、県立河北病院と寒河江市立病院の統合を軸に新たな医療提供体制の構

築を進めるべきと判断した。引き続き関係者の意見を聞きしっかりと取り組んでいく。



自由民主党  
鈴木 孝 議員  
(東村山郡選挙区)

### 果樹の担い手確保

**問** 果樹園の維持や担い手の確保に向けた市町村の地域計画策定などに関し、どのような支援をしていくのか。

**答** 令和4年2月に「農地集積・集約化プロジェクト会議」を立ち上げ、市町村や農業委員会などと連携し、市町村の計画策定や農地の集積・集約化を支援している。また、同会議に検討チームを設置し、樹園地の維持方針や担い手がいない樹園地の継承手法の検討を進めている。果樹の担い手確保と樹園地の継承にしっかりと取り組んでいく。

### 内水対策

**問** 浸水被害防止が困難な河川を指定して流域治水を推進する「特定都市河川制度」の活用を含め、内水被害の軽減についてどのように考えるか。

**答** 令和2年7月豪雨による中山町の石子沢川の被害を受け、県・市・町で立ち上げた勉強会で「特定都市河川制度」を活用した取組みが、内水被害の軽減に有効ではないかと意見が出されている。今後、対策案や地域の理解を得る方法などに関しさらに議論を深め、同制度を活用する有効性や課題、県の役割などについて検討していく。

### 予算特別委員会の質疑内容



自由民主党  
遠藤 寛明 議員  
(上市市選挙区)

### ICTなどを活用した農業用ため池の安全対策

**問** ICTなどを活用した農業用ため池の安全対策を今後どのように進めていくのか。

**答** 防災工事が必要な農業用ため池について計画的に整備を進めるほか、梅雨と台風シーズン前のドローンによる防災点検や貯水水位の遠隔監視システムの構築などICT機器の導入を支援している。ICT機器導入には国庫補助事業を活用できるが、通信料などの維持管理費は対象外であるため、令和5年1月に農林水産省に制度拡充を要望した。

### 高校生の自転車利用時のヘルメット着用促進

**問** モデル校を設置するなど高校生の自転車用ヘルメットの着用が進む環境をつくっていくべきと考えるがどうか。

**答** 県では令和元年度に条例で全ての自転車利用者のヘルメット着用を努力義務とした。また、自転車で登校する高校生などに対する早朝の啓発活動や動画による広報を行っている。令和5年度は県内の全高校の新入生に対し啓発チラシを配布予定である。モデル校の指定も含め効果的な普及啓発策を検討していく。



県政クラブ  
菊池大二郎 議員  
(村山市選挙区)

### 大旦川河川整備事業の現状と今後の取組み

**問** 大旦川河川整備事業をどのように進めていくか。

**答** 大旦川とその支川では堤防のかさ上げや河川・調節池の整備を並行して計画的に進めている。これまでの整備により、下流の治水力が一定程度向上したため、今後は、上流や支川の河道掘削、堤防整備を進めていく。また、調節池については、早期に治水効果を発現させるため、暫定的に計画面積の約3割に当たる7.5haでの運用開始を予定しており、河川整備の進捗を踏まえ進めていく。



### やまがた健康住宅の普及と改良

**問** やまがた健康住宅をどのように普及拡大していくか。

**答** これまでの「健康面」の効果に加え、「高い省エネ性能」をより強力に発信し、若い世代をはじめ幅広い層の県民の関心を高めていく。その上で、ターゲットを明確に意識しながら、様々な広報媒体を活用し、県民目線の分かりやすい情報発信を行っていく。また、補助制度の見直しによる需要喚起や事業者登録制度の新設による供給体制の強化にも取り組んでいく。



自由民主党  
森谷仙一郎 議員  
(天童市選挙区)

### モンテディオ山形の新スタジアム整備に向けた協議の状況

**問** 天童市などを交えた関係者間の協議および今後の整備見通しはどのような状況か。

**答** 県では、新スタジアムの整備予定地に選定された県総合運動公園特設駐車場の使用に際し協力の要請を受け、天童市による代替地確保の方向性を踏まえ、協力する旨回答した。現在、モンテディオ山形が中心となり具体的な整備計画や中長期的な運営計画を検討している。天童市の考えも聞いた上で対応を検討していく。



### 産業系県立高校の魅力向上の取組み

**問** 産業系高校の魅力の向上にどう取り組んでいくのか。

**答** 令和5年度、地元自治体や産業界などで構成する協議会を設置し多角的な視点からアイデアをいただき、カリキュラムの開発や、企業と連携した生徒の学習意欲が湧くような共同研究などを進める。また、地元企業への親近感や地域産業を担うやりがいを感じられるよう長期休暇中のインターンシップなどに取り組み、情報発信も工夫をして、魅力を磨き上げていく。



自由民主党  
小野 幸作 議員  
(寒河江市・西村山郡選挙区)

### 県立博物館の整備に向けた今後の進め方

**問** 県立博物館の移転整備について今後どのように進めていくのか。

**答** 令和5年2月に開催した第3回有識者懇談会では、前回までの内容を踏まえ深掘りされた意見が示された。今後はこれまでに示された意見を基に、より専門的な見地や県内外の各界各層から意見を聴取するとともに、現博物館の現状と課題の整理や先進事例調査を行い、基本構想の素案の作成に取り組んでいく。

### 中京圏・関西圏における山形県に関する情報発信の強化

**問** 中京圏・関西圏に対する情報発信をどのように強化していくのか。

**答** 同圏においては、さくらんぼのトップセールスなどに加え、観光情報番組の放送や名古屋・大阪両事務所での移住セミナー開催など取組みを強化している。令和5年度は「やまがた紅王」の本格デビューが予定されており、本県をPRする好機である。今後も両事務所における知名度アップのPR活動や移住相談対応など現地できるとできる活動を積極的に展開していく。







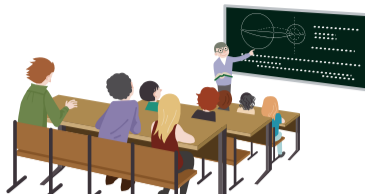
無所属  
山科 朝則 議員  
(新庄市選挙区)

**東北農林専門職大学(仮称)と学校や地域との連携**

**問** 児童・生徒の進学先に選ばれ、地域活性化に貢献するためどう取り組むか。

**答** 農林業の人材育成には、教育の質の向上に加え、学校や地域との連携が不可欠であり、出前授業や児童・生徒を大学に受け入れての模擬授業、高校の探求型学習での助言などを実施し、大学の優位性をPRしていく。また、授業の一環として、

教員と学生が積極的に地域に入り議論を重ねることで、地域の課題解決と活性化に貢献していきたい。



**新たな新庄病院での救急患者受入れと生活習慣病への対応**

**問** 地域救命救急センターが担う役割は何か。また、生活習慣病にどう対応するのか。

**答** 最上地域に初めて設置する地域救命救急センターでは、専門医を配置し、専門性の高い救急医療を提供できるようにする。さらに、夜間休日診療所の機能を移転し、医師会の協力を得て運営を行い、患者の利便性向上を図る。また、がんや糖尿病などの生活習慣病に対応する診療機能を強化することで、医療需要にしっかり対応していく。



自由民主党  
金澤 忠一 議員  
(山形市選挙区)

**人口減少と今後の県政運営**

**問** 人口減少が進む中、今後県政をどう運営していくのか。

**答** テレワークや副業など新しい働き方に対応した移住の促進などに力を入れていく。

また、様々な分野でのリスキリングを強化するとともに、デジタル技術などの活用を推進し、県内産業の生産性向上にも取り組んでいく。こうした取組みを通して若者や女性の県内定着・回帰につなげ、人口減少下においても真の豊かさや幸せを実感できる山形県を目指していく。



**移住・定住の推進**

**問** さらなる移住者の増大に向け、今後どのような取組みを展開していくのか。

**答** 都市部の子育て世帯が本県での子育てやテレワーク、アクティビティなどを体験したり、気軽に山形の仕事や観光、暮らし、地域との交流を体験したりする取組みや、テレワークを活用した移住経費の助成を行う。さらに、首都圏に加え、関西圏や中京圏において、食や県民の気風など山形の魅力を積極的に発信し、移住者の増加につなげていく。



県政クラブ  
吉村 和武 議員  
(山形市選挙区)

**高度な救急医療情報システムの導入**

**問** 高度な救急医療情報システムを迅速に導入すべきと考えるがどうか。

**答** 救急隊の現場滞在時間の短縮など一定の効果が認められるが、リアルタイムでの情報更新を行う場合に多忙な医療現場に新たな負担をかけることになるなど、運用上の課題もある。救急搬送困難事案の解消に成果を上げていく事例などを研究し、関係者と十分に議論を重ね、本県の実情にあった有効なシステムの導入に向け取り組んでいく。

**蔵水の樹水再生に向けた取組み**

**問** 蔵水の樹水再生の取組みをどう進めていくのか。

**答** 県や市町村、経済界、県民などが一体となって樹水再生に向け機運を高めるとともに、将来世代にわたって再生の取組みを支えていくことが重要であるため、知事をトップに「樹水復活県民会議(仮称)」を設置する。同会議に2つのワーキングチームを設け、実践的な活動を通して、林野庁による植生復元の取組みや県民の機運醸成につなげていく。



自由民主党  
舩山 現人 議員  
(東置賜郡選挙区)

**県立博物館の移転整備に向けた今後のスケジュール**

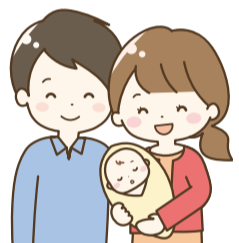
**問** 移転整備に向け、完成目標年次を掲げて取り組むべきと考えるがどうか。

**答** 基本構想の策定から開館まで10年程度かかると想定している。新博物館の理念や機能、施設内容、財源など様々な課題があり、地域づくりや観光との連携など多様なニーズにも応えながら、山形らしく魅力的なものとする必要がある。基本構想案の作成に向けて着実に検討を進め、目標年次などの方向性もその中で整理していくと考えている。

**人口増に向けた子育て支援策の予算**

**問** 「子育てするなら山形県」を標榜する中、子育て支援策に予算を集中して施策展開を図ってはどうか。

**答** 「子育てするなら山形県」の実現に向けて県予算を子育て支援策に重点配分してきたところであり、関連する令和5年度当初予算額は、吉村知事の就任以前と比べ2倍以上となった。4月のこども家庭庁発足も考慮し、財源の移譲など政府の動向を注視しながら、市町村、関係団体などと連携し、施策を構築していく。



**知事への政策提言**

3月15日、3つの特別委員会における県政の重要課題に関する調査・審議の結果を踏まえ、議会の総意として、県政発展につながる施策をとりまとめ、知事に対して政策提言を行いました。概要は次のとおりです。

**【まちづくり・交通インフラ対策特別委員会】**

- 提言1 地域交通インフラ・ネットワークの充実
- 提言2 地域運営を維持するための環境整備

**【生涯健康・子ども支援対策特別委員会】**

- 提言1 子どもの貧困に対する支援の充実・強化
- 提言2 医療に頼らない健康維持の取組みの推進

**【デジタル化・脱炭素社会対策特別委員会】**

- 提言1 生産性向上に向けた農業と建設業のデジタル化の促進
- 提言2 「ゼロカーボンやまがた2050」の実現に向けた農林業の活性化と新産業の創出



知事に政策提言を手交する坂本貴美雄議長



※提言の全文は県議会のホームページでご覧いただけます。

**可決した意見書**

- 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けの変更に伴う影響に対する万全な対応等を求める意見書
- 空き家の発生抑制と利活用の促進を求める意見書
- 不登校児童生徒等の支援体制の拡充と学習機会の確保に必要な財政支援を求める意見書
- 森林環境譲与税の譲与基準の見直し及び林業・木材産業の活性化対策の推進を求める意見書
- 医療・介護・保育・福祉などの現場で働く全ての労働者の賃金の更なる引上げを求める意見書

**可決した決議**

- 除排雪に携わる方々に感謝する決議

県議会は、年に4回(2月・6月・9月・12月) 定例会を開催します。

「県議会やまがた」は、各定例会の概要などをお知らせします。

**編集・発行 山形県議会**

〒990-8570 山形市松波2-8-1 Tel. 023-630-2846  
https://www.pref.yamagata.jp/kensei/assembly/index.html



山形県議会 検索

**県議会の傍聴・インターネット中継のご案内**

県議会の本会議や委員会は公開されており、どなたでも傍聴することができます。  
※マスクの着用は、議員・執行部・傍聴者ともに個人の判断となります。  
現在、席数の利用制限はありません。(席数には限りがあります)  
本会議と予算特別委員会はインターネットによるライブ中継・録画放送で視聴できます。スマートフォンからご覧いただけます。

問合せ先 (傍聴) 023-630-2840  
(インターネット中継) 023-630-2845

※詳細は、議会ホームページでご確認ください。



傍聴について



中継について